

第2回 ユニバーサルサービスワーキンググループ 参考資料

# 第1回会合の主な意見

2024年2月22日  
事務局

## ユニバーサルサービスに関する基本的な考え方

- 基本的考え方として、**技術中立性**、すなわち、潜在的な技術も含めた研究開発投資や設備投資のインセンティブを損なわないユニバーサルサービス制度の構築を目指すべき。(岡田構成員)
- **携帯電話網や衛星通信**等条件不利地域で安価に提供可能なシステムは**技術的課題を整理して議論**する必要。(藤井構成員)
- NTTの特別な責務の在り方や他社との設備保有の違いを踏まえたユニバーサルサービスの根幹部分(あまねく・ラストリゾート)の制度的担保が必要。(KDDI)
- 時代に即したユニバーサルサービスの見直しは当然であり、**電話からブロードバンドに移行することが基本**。デジタル田園都市国家構想の**光ファイバ整備の達成目標を前提とした議論**をすべき。(KDDI)
- **携帯電話をユニバーサルサービスとして位置付ける**べき。(相田主査代理、砂田構成員)
- **携帯事業者の設備が災害により被害を受けた場合に地域から撤退するような事態を止めるために**、携帯電話について、電波の割当ての際に開設指針で求められるような**撤廃規制や退出規制**があっても良いのではないか。(相田主査代理)
- ユニバーサルサービスの対象にモバイルを含めることを検討するべきという委員の意見には深く賛同。(STNet)
- **スマホは電話より脆弱**なデバイスである面も踏まえて議論してほしい。(JAIPA)
- モバイルの通信速度や人口カバー率は各社が発表しているが、取り残される人が出ないように、**実態を反映した緻密な数字**を出して議論が必要。(長田構成員)
- **新しい技術が苦手な人も**いる中で、どうすれば人に寄り添ったユニバーサルサービスができるか議論が必要。(長田構成員)
- **不採算地域においても、都市部と比較して通信の安定性、通信の平等が確保**されるよう議論が深まることを期待。(消団連)
- 基盤整備においては、**特定の事業者だけでなく、複数の事業者が特性を生かし、協力して達成**できるとよい。(春日構成員)
- 交付金の原資は事業者負担、国民負担であることを理解いただけるよう、**わかりやすく、かつ安定的に継続する制度**をお願いしたい。(TCA)
- 全ての事業者が応分の役割で支える上でも、**シンプルかつ実効性のある制度設計**をされたい。(KDDI)
- 国民生活に不可欠なサービスは公正競争により確保されることが理想であり、**ユニバーサルサービス制度は最低限**であるべき。(ソフトバンク)

## 電話のユニバーサルサービスの在り方

- 今は**メタル固定電話より携帯電話**が重要であり、安定性と技術中立性のバランスをとりながら国民に重層的にサービス提供できるようにすることが重要。(大橋構成員)
- **固定電話へのニーズに配慮しつつ**、多くの人にとって携帯が一番身近な通信手段になった**利用実態を重視すべき**。(砂田構成員)
- 交付金制度の赤字状況に鑑み、メタルはサービス後退・縮退含めて代替し、**代替サービスに交付金を振替えていく**のも合理的。(林構成員)
- 固定電話の代用に携帯電話網を利用するなど、電話の提供手段が多様化することが想定される中、**緊急通報の要件**を今後どうするのか整理しておく必要がある。(藤井構成員)
- 交付金によっても赤字が補填しきれず、**固定電話の基本料・通話料が適正值に設定されているか**議論の余地がある。(相田主査代理)
- 削減の計画のある公衆電話も一気に無くすことはできず、維持に係るコストの一部は交付金の対象とすることが必要。(関口構成員)

## ブロードバンドのユニバーサルサービスの在り方

- 固定ブロードバンドとモバイルブロードバンドの差異を議論するにあたり、求められる品質について、30Mbpsが基準だとされている名目速度のみならず、**実質速度にも踏み込んだ議論**が必要。(相田主査代理)
- **ワイヤレス固定（共用型）や衛星も含め、最も効率的な方法で提供可能となるよう、第二号基礎的電気通信役務の範囲を適時適切に見直す**ことができる枠組みを設けるべき。(岡田構成員)
- 技術基準については、異なる技術が併存して提供される可能性を考慮して、**役務のタイプに応じて柔軟な定義**を設けることを検討すべき。(岡田構成員)
- 支援区域に多様な通信手段が積極的に導入されることを促すため、投資を促進する工夫として、通信手段の費用構造の違いを反映した**特別償却や加速償却などを交付金の算定に反映**させることを検討してもよい。(岡田構成員)

## ユニバーサルサービスの料金の低廉性確保の在り方

- 低廉性の確保は重要であり、交付金によっても事業費用の埋め合わせができない場合、**赤字縮減の工夫**が必要。(大橋構成員)
- ブロードバンドのユニバーサルサービスについて、**差別的な地域別料金を原則認めない**とすることにより、競争が働く地域、働かない地域で価格差を生じないようにすれば良い。(林構成員)
- 利用者の負担金を低廉に抑えつつ、ユニバーサルサービスの責務を負う企業に**過度な負担を与えない形**を目指し、**持続的なユニバーサルサービス制度**を目指すべき。(藤井構成員)

## ユニバーサルサービスの安定的かつ効率的な提供の確保の在り方

- 通信インフラはインフラシェアリング等で全体最適な効率化が進みつつある。ユニバーサルサービスにおいても事業者レベルでなく**社会全体の効率性**を考えるべき。(砂田構成員)

## その他

- 低価格で品質も安定した**衛星や無線の技術が日本から生まれるのを促進**できるよう制度設計が必要。(砂田構成員)
- 多様な事業者、提供形態が競合する状況では、**電話のユニバーサルサービス制度のような効率化係数**は廃止されるべき。(岡田構成員)